

(1) 多摩総合医療センター



所在地

〒183-8524

府中市武蔵台二丁目8番地の29

電話番号

042(323)5111 (代表)

【概要】

面積 敷地 180,257 m² (多摩メディカル・キャンパス内)、建物 67,616 m² (本館、附属施設を含む)

規模 入院 756 床 (普通 697 床、精神 30 床、結核 29 床)
外来 1,515 人/日

職員数 1,116 人 (医師 163 人、看護要員 744 人、その他 209 人)

診療科目 総合内科、腎臓内科、消化器内科、内視鏡科、内分泌代謝科、感染症科、緩和ケア科、血液内科、脳神経内科、神経・脳血管内科、呼吸器・腫瘍内科、循環器内科、精神神経科、外科、乳腺外科、呼吸器外科 (胸部外科)、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、リウマチ膠原病科、リハビリテーション科、診療放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、女性専用外来、救急・総合診療センター、救命救急センター、小児 (新生児) 科

施設承認 急性期一般入院料 1、地域医療支援病院入院加算、結核病棟入院基本料 (10 対 1 入院基本料)、療養環境加算、重症者等療養環境特別加算、妊産婦緊急搬送入院加算、医療安全対策加算 1、感染防止対策加算 1、ハイリスク妊娠管理加算、医師事務作業補助体制管理加算 (30 対 1)、急性期看護補助体制加算 (75 対 1)、救命救急入院料、精神科救急入院料、特定集中治療室管理料、入院時食事療養 (I)、脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)、がん診療連携拠点病院加算 等

【交通案内】

J R 線 「西国分寺駅」 (中央線、武蔵野線) から徒歩約 15 分

バス 「総合医療センター」 (京王電鉄バス)

- ・「西国分寺駅」から約 5 分、「国分寺駅」南口から約 10 分
- ・「府中駅」 (京王線) から約 20 分
- ・「西府駅」 (南武線) から約 20 分



【特 色】

都立病院の再編整備により、旧府中病院を全面改築・移転し、平成 22 年 3 月に「多摩総合医療センター」として開設した。

当院では、11 の重点事業をあげているが、その中でも救急医療、がん医療、周産期医療を中心として、高度・専門医療を実施している。また、多摩地域における唯一の総合的な医療機能を持つ都立病院として、そのスケールメリットを生かし、専門診療から総合診療まで幅広い医療の充実により、多摩地域の医療水準の向上を目指している。

(ア) 救急医療

増え続ける多摩地域の救急需要に対応するため、外来部門（ER）、重篤な患者への集中的な治療を行う救命・救急センターから成る「東京ER・多摩（総合）」を設置し、365 日 24 時間の救急医療を実施している。

(イ) 周産期医療（産科部門）

隣接する小児総合医療センターの新生児部門と一体となって、周産期医療の「最後の砦」として「総合周産期母子医療センター」を運用している。

(ウ) がん医療

「地域がん診療連携拠点病院」として、多摩地域におけるがん医療を担うために、外来化学療法センターやリニアック等のがん診療設備を活用する一方で、相談支援センター業務の充実や緩和ケアへの取組も積極的に行っている。

上記のほか、脳血管疾患医療、心臓病医療、難病医療、精神科救急医療、結核医療、障害者歯科医療、造血幹細胞移植医療、移行期医療を重点医療とし、高度・専門医療を実施している。

【主な医療設備・機器】

(ア) 主な医療設備

ICU（8床）、HCU（12床）、MF-ICU（9床）、救命・救急センター（20床）、ER（10床）、外来化学療法センター（27床）等

(イ) 主な医療機器

CT装置、MRI（磁気共鳴断層撮影装置）、血管連続撮影装置、CR装置、生化学自動分析装置、シンチレーションカメラ、核医学データ処理装置、電子顕微鏡、リニアック、ラルストロン、X線テレビジョン装置、アルゴンレーザー光凝固装置、連続成分採血装置、炭酸ガスレーザーメス、エキシマレーザー血管形成システム、手術用支援ロボットシステム 等



総合周産期母子医療センター



ヘリポート